



GERMANY



ドイツ出身のマリー・ポーレンです。2014年8月末に来日、留学期間は10ヶ月間、大分県の学校に通っています。来日してもう少して3カ月が経ちますが、毎日とても充実した生活を送っています。学校では様々なイベントに積極的に参加して、友達もたくさんできました。大分はとても穏やかで良い所です。残りの留学生生活をますます楽しみたいと思っています。それでは、私が生まれ育った国、ドイツを紹介します！

ドイツについて

ドイツは日本よりも小さい国ですが、地域によって様々な違いがある興味深い国です。ドイツは、どちらかと言うと日本に似ていて、都道府県のように、各自治体が管理していて、それぞれの地域で独特な文化の特徴や方言があります。約200年前までは、それぞれの自治体が違う国を形成していたこともあり、日本と比べてドイツは国としての歴史が長いわけではありません。ドイツはキリスト教の国です。そのため、日本人の留学生にとっては、クリスマスやイースターなど家族で祝う重要な行事は、とても面白い経験になると思います。

ドイツの家族について

ドイツの家族構成は、もちろん家庭によって違いがありますが、世代によっても異なります。昔は子どもが3人いることが普通でしたが、少し後の世代は子どもが2人の家族が多く、さらに時代が進んで現代では、子どもがいない家庭か、もしくは一人っ子の家庭が多くなっています。また、多くの家庭で犬か猫のペットを飼っています。この状況は日本と似ているかもしれませんが、ドイツでは、お母さんは毎朝子どものお弁当を作ることはありません。お弁当の準備は、子どもたちが自分で準備して持って行かなければなりません。日本はお母さんがお弁当を作ってくれる家庭が多いので、うらやましいです！

日本の学校とドイツの学校の違い

ドイツと日本の学校生活は、本当にたくさんの違いがあります。いくつかその違いを挙げると、以下のようになります。

- ・ドイツの学校には制服はありません。
- ・一クラスの人気はドイツの方が少ないです。
- ・黒板の代わりに「スマートボード」を使っている学校もいくつかあります。
- ・男子生徒と女子生徒は仲が良く、よく話します。
- ・ドイツの高校には「校歌」がありません。
- ・ドイツの高校では、始業／終業の挨拶で立ち上がったたり挨拶したりしません。
- ・生徒は学校の清掃を行いません。
- ・お弁当がありません。ドイツではランチボックスと呼びますが、調理された食材が入っているのではなく、だいたいサンドイッチや、フルーツ、ヨーグルトなどを持ってきて食べます。
- ・どの生徒もシャイではないので、すぐに友達ができます。

ドイツの気候、食べ物について

食べ物について、まずドイツではお箸を使いません。また、ポテトはドイツの料理には欠かせない食材です。ドイツではよくパンを食べます。パンは日本人にとってお米と同じような存在です。パンは朝食でも、昼食ではサンドイッチとして、そして夕食でも食べます。朝食にコーンフレークを食べる家庭も多いです。また、昼食と夕飯の間に、軽い食事をする人もいます。その時にはココアやコーヒー、紅茶など温かい飲み物と一緒にケーキやクッキーを食べます。気候は東京と似ていますが、ドイツの方が気温が低いと思います。また、夏の暑さは日本ほどではありませんし、冬は寒くなり、たくさん雪が降ります。ドイツは日本のように北と南で天気が大きく違うということはなく、北の海に面した地域や山の上の方はだいぶ寒くなり別ですが、ドイツ国内どの地域もだいたい同じような気候です。

メッセージ from マリー

ドイツでの留学生生活が素敵なものになりますように！ きっと、ドイツでは日本と違うところが毎日の生活の中でたくさん見つかると思いますよ。楽しんで下さい！！

